

No.214
2026年2月1日
滋賀県竜王町議会

りゅうおう

議会だより



巻頭特集 こども議会開催!!

- 定例会報告 P5～ 一般会計予算、総額138億円を超える
- 委員会活動 P7～ 後期基本計画の方向性は
- 一般質問 P9～ 竜王は「Ryuo」か「Ryuoh」か

12月
定例会



Bグループ

山口 ちさと議員、西村 純之介議員、河村 桜々羽議員、田中 雅姫議員、
齋藤 吏樹議員、澤田 音祈議員



Cグループ

黒木 俊太郎議員、菊池 咲玖議員、
齊内 光優議員、勝見 咲来議員、
水上 百萌議員



Dグループ

樋田 逢花議員、西村 啓汰議員、
池田 拓哉議員、森岡 美樹議員、
齊内 愛音議員



こども議会2025開催!!

令和7年12月20日（土）午後2時30分より、竜王町役場3階の町議会議場で「こども議会」を開催した。町内の小学5年生から高校3年生までの22名のこども議員が、8月から4回のワークショップを開催し、取りまとめた意見を町に提言した。



Aグループ

いぬい あつき 犬井 敦貴議員、たにぐち らく 谷口 来玖議員、ばん なの は 伴 奈乃羽議員、たけやま まおん 竹山 真温議員、
むらい はると 村井 遥仁議員、たなか こたろう 田中 琥汰朗議員



子どもが安全に移動できて、安心して遊べる町にするには

子どもも大人も気軽に集まれる「町の中心」を作るには

みんなが気軽に集まり、安心して過ごせる交流場所を作るには

問 チョイソコリゅうおうをもっと便利に利用状況により運行曜日や時間帯を検討し、学校との連携も模索する

答 新しい公園にキッチンカーを町で新しく購入するキッチンカーの利
用方法は今後検討したい

問 公民館を交流スペースとしてもっと活用できるように広報してほしい

答 公民館は町民の憩いの場で気軽に集まれる場所としてお知らせや案内に注力したい

問 公民館へ「声を届ける仕組み」づくりを

答 HP上の「町長への手紙」と併せて、公民館にも「意見箱」を設置したい

地域でつながり、楽しめるイベントを増やすには

問 学区別の「小さな夏祭り」の開催をイベントを通して地域のみなさんがつながれるまちづくりを進めたい

「私が言った意見に応えてくれた」と嬉しそうに話をしてくれました。今後は、自分以外の皆さんも喜ぶ町になるよう考え、行動できるように期待しています。

自分たちが提案した事が本当に実現する事もあるんだ！と感ずることが出来たようで、意味のある会議で参加して良かったと思えたようです。

慣れない場所でしたが、うまく行って良かったです！

町役場の人たちが真剣に答えてくれてうれしかったです

緊張したけど楽しかった！

議場で発表でき、いい経験になりました

138億円を超える予算に

●12月議会のあらまし

12月定例会は、12月2日から23日までの22日間の会期で開催されました。今議会では、令和7年度の一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正や動産取得など、町政運営に関わる重要な議案について審議しました。各議案は慎重な審議の結果、原案通り可決され、町民生活の向上や地域課題の解決に向け施策が進められることとなりました。また、一般質問では11名の議員が登壇し、子育て支援、福祉、防災、地域活性化など、町政全般について活発な議論を行いました。

一般会計

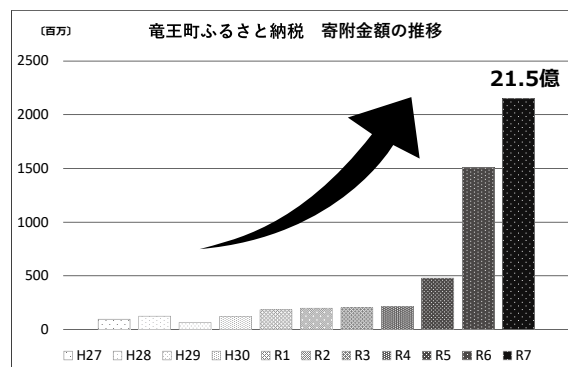
補正予算 **7億9千960万3千円**を増額し、**予算総額は138億869万8千円**

主な増額

公共施設維持管理基金積立金 **6千23万円**

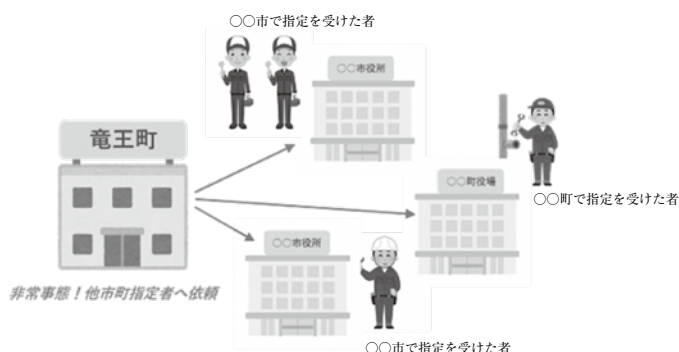
未来につなぐふるさと交電基金積立 **4億円**

ふるさと納税推進費 **2億3千200万円**



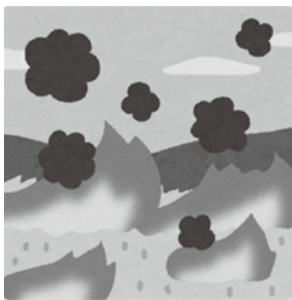
主な条例改正

- ・竜王町放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・竜王町家庭的保育事業の設備および運営に関する基準を定める条例の全部改正
- ・竜王町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正
- ・竜王町乳児等支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例 (P.8 参照)
- ・竜王町火入れに関する条例の一部を改正する条例
- ・竜王町給水条例の一部を改正する条例
- ・竜王町下水道条例の一部を改正する条例



災害時の事業者確保のため、災害その他非常の場合において、町長が他市町の指定を受けた者に工事を行わせることができる

火入れ条例を知ってる？



条例を守らないと・・・

「火入れの条例」とは、
森林法に基づき、山火事
防止のため、森林やその
周辺での火入れに許可を
義務付けている。

強風警報、乾燥注
意報、火災警報が発
令されると野焼き、
花火、焚火、屋外で
の喫煙などが禁止。
今回の条例改正で
「林野火災注意報」
も追加されました。

動産の取得について

※図書館での作業効率化や図
書館利用時の簡素化が加速

令和8年1月31日

《納入予定日》

23,639,000円

《契約金額》

その他

3台

端末類

5台

プリンター類

11台

業務用PC類

6台

《機器／数量》

図書館システム



令和8年3月25日

《納入予定日》

(44,330円／セット)

11,880,440円

《契約金額》

《数量》

268セット

災害時用備品
(テント式パーティション)



高さ1.8m仕様



幅2.1m×奥行2.1m×高さ1.8m

《納入予定日》

調理で運用

(防災用として避難所の食事

8,760,685円

《契約金額》

《購入台数》

1台

防災用キッチン
カー



イメージ

令和8年3月25日

総務産業建設常任委員会



電王町水道事業ビジョン・経営戦略改定について

1 目的・位置付け

安心して使い続けられる水道を維持するため、国の新水道ビジョンの方針に沿って、本事業の将来像と取組の方向性を示す。

2 計画期間

令和8年度～令和17年度（10年間） ※状況変化に応じて見直しを行う

3 施策目標（4つの柱）

- ①**安全**：安全で安心な水の供給
- ②**強靱**：強靱でしなやかな水道
- ③**持続**：健全で持続可能な事業経営
- ④**サービス**：サービスで支える住民との協働

4 投資・財政計画

人口減少による限られた財源の中で、収益確保に向けた検討が必要である。



配管工事の様子

主な質疑応答

問 組織体制の強化は人材の確保・専門職員の確保が大きな課題であるが、今後の職員採用等の計画・予定についての考えは。

答 水道事業は、その性質上ノウハウと経験が必要となる。計画的な採用・人事異動がなされるよう、人事ヒアリングの場等において引き続き要請を行う。



第六次電王町総合計画後期基本計画の方向性について

総合計画は基本構想と基本計画の2階建てである。今回は基本構想は変更せず、後期基本計画を総合戦略と一本化して策定する。計画期間は令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間である。

1 後期基本計画のテーマ

「新しい価値を創造する『新結合』で、未来を創る
～『ワタシらしさ』を選べる、新しい暮らしの舞台～」

2 重要ポイント

- ①住宅用地・産業用地の確保
- ②若者や女性から選ばれる地域づくり
- ③社会潮流の反映



住民懇談会の様子

主な質疑応答

問 基本構想で将来目標人口「2030年：1万1000人以上」と書かれているが、昨今の人口減少の現状を見つつもこのままとするのか。

答 地区計画による住宅地整備の話も出てきているので、後期の5年間で改善を図っていきたいと思っている。いずれにしても、住宅用地の確保が大前提だと思っている。

議会改革特別委員会

11月26日 こども議会（詳細記事P1～3参照）の実施要項と当日の役割分担

12月10日 議会報告会のあり方の議論

議会報告会は、1部（議会からの報告）2部（町民とのカフェ形式の座談会）の2部構成

開催日時 1回目：5月22日（金）午後7時 2回目：5月23日（土）午後2時

開催場所 電王町公民館ホール

合計2回開催予定。詳細は、次号の議会だより215号にて改めてお知らせします。

教育民生常任委員会



竜王町乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例

子どもの良質な成育環境のため、就学要件を問わず保育園に通っていない満3歳未満の子どもが通園できる。

●地域限定保育士の一般制度化がスタート！

①制度の現状・背景

地域における保育人材確保のため、地域限定で保育士と同様に業務を行うことを可能とする「地域限定保育士制度」が創設された。

②改正内容

特例の都道府県又は指定都市においてのみ保育士と同様に業務を行うことができる資格制度として、滋賀県が認定を受けた場合、地域限定保育士制度を導入するもの。



効果

実技講習を受ければ実技を免除
受験機会の増加
人材確保につながる

注意点

試験ごとに受験費用がかかる
3年間は働く場所が制限される

地域活性化特別委員会



中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について

中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗状況について説明を受けた後、工事中新小学校の現場と県道小口川守線のラウンドアバウト現場で調査説明を受けた。

問 建築中の小学校工事の進捗状況は。また、ラウンドアバウトの両側の残地の利用は。

答 小学校は現在約48%の進捗状況である。
図書館側は共用駐車場、綾戸側は通行に支障をきたすため、舗装しベンチを置く。



町政 ここを問う!

12月定例会では11議員が25問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

ページ	質 問 者	質 問 事 項
10	山田 義明	・ふるさと納税による寄附金の運用は
	三宅 政仁	・指定避難所の環境整備を
11	大橋 裕子	・読書推進のための学校図書館の充実を ・白紙に戻ったIBMグラウンド跡地の活用は
12	鎌田 勝治	・交通ネットワークの形成の進捗は ・夜間利用可能な屋外運動場の整備は
13	磯部 俊男	・戦後80年と平和祈念碑の建立を受けて ・小中学校における不登校の状況と対応は
14	小西 久次	・地域計画策定後の町の農業に対する思いは ・若者定住、転入転出から見えるものは ※中学校における部活動の地域展開は
15	若井 政彦	・横断的視点での空き家対策を ・町民に寄り添う令和8年度予算編成を
16	森島 芳男	・アンケート調査からみた環境意識の変化は ・人口減少が町政・町民に与える影響は
17	橘 せつ子	・PFAS検査の続行と汚染源調査の実施を ・フリースクール利用料への補助金増額を ※成人歯科検診費用（節目検診等）に助成を ※地域公共交通充実への対応は
18	中村 匡希	・竜王は「Ryuo」か「Ryuoh」か ・祖父川公園の管理費や多目的利用は ※空家等対策計画の総括と空家等管理活用支援法人による空き家対策の強化は
19	内山 英作	・地域コミュニティの維持・活性化事業は ・地域まるごと包括的支援体制の整備は ※チョイソコリゅうおうの利用者拡大に向けて

各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴け
るよ



近江うし丸

※紙面の都合上、掲載しておりません。

QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

次回の一般質問は

令和8年3月23日(月)予定

●日程は変更になる場合があります。

●議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

問 ふるさと納税による寄附金の運用は

答 寄附者の想いを尊重し活用する



やまだ よしあき
山田 義明 議員



返礼品で喜ぶ大家族

問 昨年度はふるさと納税額が15億円となり町の財政運営に大きく寄与している。急激な金額の伸びによる財政運用は医療費や給食費の無償化に活用されているが、一般財源と違い金額の定まらない特定財源での運用基準を設け人口減少や少子高齢化が進む町の将来を見据え、高額となった中心核事業等で長期債務を避ける運用とし、通常の財政運用は寄附金以外の業務改善で運用できないか。

答 現行でも中心核整備事業等にも充当が可能であるが、中心核整備等の施設は長期間にわたり利用されるもので世代間の負担の公平性や財政負担の平準化の観点では、地方債を活用して整備費用を分割していくことも適切と考える。このため国庫補助金や県補助金、町の積立金など、既存の財源を最大限活用し、起債と自己財源の最適な組合せを検討し、財政負担の平準化に努める。

問 指定避難所の環境整備を

答 指定避難所での良好な生活環境の提供に資する環境整備に継続して取り組む



みやけ まさひと
三宅 政仁 議員



町内6箇所ある指定避難所および指定緊急避難場所

問 多くの町民が避難する指定避難所について、次の4点を伺う。
① 指定避難所と指定緊急避難場所の違いは。
② 災害の状況に応じた指定避難所か、指導と安全確認の実施は。
③ 避難経路や安全性を随時確認しているか。
④ 避難所のハード面のレベルアップが必要なのは。

答 ① 指定避難所は、災害時に住民が一時的に生活する施設。指定緊急避難場所は、危険から命を守るために逃れるための避難場所を指す。② 3階建て建物は、垂直避難できるため水害に対して避難所として機能を有する。施設管理者が不具合発見時は適切に対応する。③ 防災出前講座等の研修や避難経路上の危険箇所、う回路など確認している。④ 指定避難所のハード面の課題は、冷暖房空調の整備で、電王西小学校、電王中学校と順次、冷暖房空調設備の整備を計画している。



おおはし ゆうこ
大橋 裕子 議員



問 読書推進のための 学校図書館の充実を

答 学校図書館司書を中心に複数体制で
対応

問 児童生徒の読書離れが進む中、学校図書館の充実が大切である。

文科省では第6次「学校図書館整備等5か年計画」を策定し図書の更新、新聞配備、司書の配置拡充等が図られている。

竜王での図書支援員の勤務時間延長、学校図書館の取組（開館時間、新聞配備、図書の廃棄）について伺う。

答 各小学校、中学校での開館時間は学校図書館



竜王中学校図書館の様子

司書の勤務体制により違うが、学級担任や教科指導担任、司書教諭、図書委員等、複数体制で朝の時間、中休み、昼休みに開館対応している。新聞は子ども新聞を1カ月に1回、中学校では中高生新聞を2週間に1回配備している。複数紙の配備はできていないが、学習で新聞を扱うときは各方面から集め、活用している。

古い本の廃棄は各校の状況にあわせ、不定期ではあるが廃棄処理をしている。

問 白紙に戻ったI・B・Mグラウン ド跡地の活用は

答 土地所有者、地元意向を踏まえ住宅
地以外の利用も考慮

問 令和6年10月「長年の課題であったI・B・Mグラウンド跡地において某社が工事廃止届出書を提出したため白紙の状態に戻った」と町より説明があったが町はこの跡地をどのように活用していくのか、この1年間の経過と今後の対応は。

と地元で、土地利用について意見交換を行っている。

町としては、土地利用を第一義的に決定するのは土地所有者であると考え、引き続き住宅

地としての利用を模索しつつも、土地所有者、および地元の意向を踏まえても検討していく必要があると考えている。

答 令和6年度については、土地所有者と協議を行い、12月に町・土地所有者・地元の三者で開発許可の課題が解消したことを情報共有するとともに、地元からは住民の意見も踏まえてほしい、との意見を伺った。今年度についても、定期的に本社へ赴き進捗を図るよう要請するとともに、町



開発が待たれる鏡地域

交通ネットワークの形成の進捗は

「都市づくりの理念」を目標として取り組む



かまだ 鎌田 かつじ 勝治 議員

① 長期の定量的な目標は

表題の件について、次の5点を伺う。
① 中・長期的な町づくりの各々の目標は。
② 中心核と地域を結ぶ道路の整備計画は。
③ 中心核へのバスターミナルと共用駐車場の整備計画は。
④ ICTを活用した町内外の公共交通ネットワークの内容は。
⑤ 中心核と地域の拠点を連絡するチョイスコリゅうおうの充実を図る計画は。



新設されたラウンドアバウト

あるが、中期の定量的な目標はない。都市づくりの理念を目標としている。
② 既設道路の活用も想定しつつ、自転車道の整備も検討する。
③ バスターミナルは複合ゾーンでの整備を予定。共用駐車場は小学校開校に併せて、令和8年9月頃の供用開始予定。
④ マイナンバーカードとICOCAの連携によりポイント還元する施策を実施予定。
⑤ 公共交通資源をフル稼働させてベストミックスを図る取組が必要。

夜間利用可能な屋外運動場の整備は

答

屋根付き多目的グラウンドを含め町内2箇所は必要

問

表題の件について、次の4点を伺う。
① 当該施設の夜間のこの1年間の利用状況は。
② 当該施設の照明設備の改修予定は。
③ 新電王小学校の運動場に照明設備の計画は。
④ 町内に夜間利用可能な屋外運動施設は何か。

③ 指定避難所ではあるが、運動場は調整池の機能を有しており、その他諸事情とあわせて総合的に判断する。
④ 夜間利用可能な運動場は屋根付き多目的グラウンドを含め、町内で2箇所は必要と考える。

答

① 令和6年度5団体、195日。令和7年度11月末時点で3団体、147日利用。
② 当該施設の改修計画はない。代替案として、総合運動公園や各学校への整備を検討する。



川守地先 農村運動広場の外観



いそべ としお 磯部 俊男 議員



問 戦後80年と平和祈念碑の 建立を受けて

答 恒久平和を伝える平和教育の象徴と
したい



建立された平和祈念碑

問 祈念碑建立の背景
と今後の維持管理、設
置の意義は。

答 町の忠魂碑の老朽化
と町遺族会の高齢化等の
課題、さらに会員の強い
思いを受けた。併せて、
町としての平和を祈念す
るシンボルとしての必要
性から建立の検討を進め、
戦後80年、町政70周年の
節目である令和7年度で
の町内の忠魂碑の解体と
平和祈念碑の建立を行い、

お披露目は、多くの皆様
の平和を祈念する思いの
中と考え、平和祈念式
の中で行った。

今後の維持管理につい
ては、町遺族会には祈念
碑の美観の維持及び工作
物の点検をお願いし、町
は周辺の除草作業を定期
的に行い美観に努める。
平和の尊さと戦争の悲
惨さが風化されず、次世
代に恒久平和を伝える平
和教育の象徴としたい。

問 小中学校における不登校の 状況と対応は

答 小中学校ともに若干増加傾向

一人ひとりの子ども支援に努める

問 ①小中学校の不登校児
童在籍率の推移と現
状は。
②不登校の要因と対
策、取組は。

が思うように築けない、
生活リズムの不調等が
考えられる。学校では
担任をはじめ不登校対
応コーディネーターや
教育相談主任を中心に
不登校児童への対応を
進め、一人ひとりの子
ども支援にしっかりと
努める。

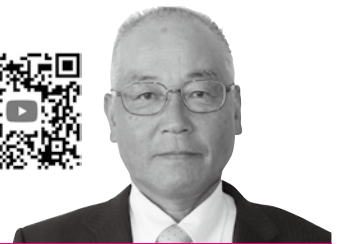
答 ①小学校はR2年1.14%か
らR6年1.86%（全国Ⅱ
2.3%）。中学校はR2
年1.43%からR6年2.37%
（全国ⅡR6年3.9%）。
小中学校ともに若干増
加傾向にはあるが、全
国レベルと比べ低い状
況にある。小学校では
高学年児童が多く、中
学校は学年間の差はな
い。
②要因としては他者との
コミュニケーション、
感情のコントロール、
集団生活での友人関係



第3の居場所、教育支援ルーム「なないろ」

問 地域計画策定後の町の農業に対する想いは

答 地域社会の維持に向けた農村振興が必要



こにし きゅうじ 小西 久次 議員

【答】 策定にあたっては、集落内での協議により、10年後の目標を掲げられた。しかし、集落ごとに危機感や次世代に向けての温度差があり、その完成には差がある。現在5地域に



未来の農業を担う子どもたち

【問】 3月に地域計画が全農家集落で作成された。後継者不足による離農や法人運営等苦慮されている事業体があるが、実態把握をしているのか。今後の行政の関わりは。

社会情勢の変化による担い手の行き詰まりにより離農が増加し、農村集落の維持存続が危ぶまれるが、その対策と町の農業に対する基本的な考え方について伺う。

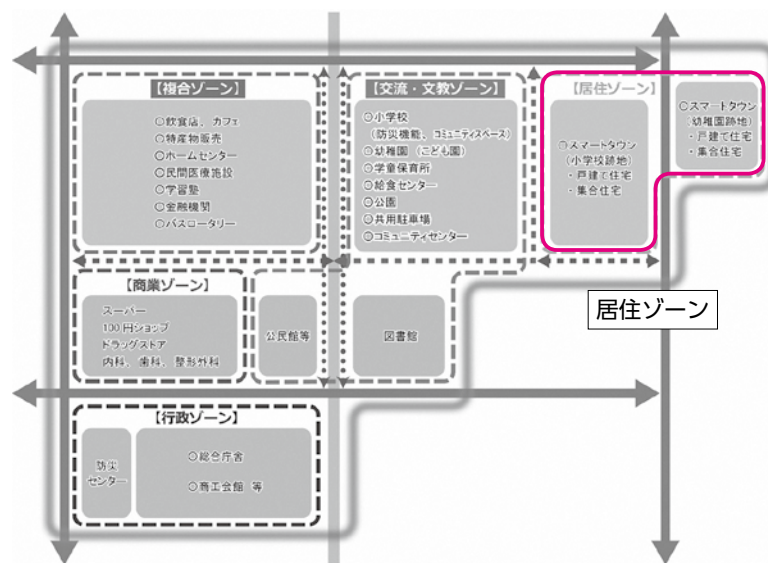
【答】 において変更手続きをしており、計画の適切な管理や地域での共有を促す等進捗状況の把握や改善の支援を行う。

農業者の減少や気候変動等変化に対応した農業の持続的な発展に効果的な対策の実施、地域社会の維持のための振興が必要と考える。このためには集落機能維持を要素としつつ、地域全体のコミュニティの維持強化も含め組織横断的に対応する必要があると考える。

【答】 町の人口減少原因は出生者数の減少と死亡者数の増加による自然減と転入者数の減少である。転出者は直近5年間で大きな変化はない。転入者は5年前と比較すると120人程度減少している。転入者の受け皿不足が原因である。転出者数に変化がないのは町の良さが認識され定住につながった。中心核整備の

【問】 竜王町の現在人口11,082人で毎年300人の人口が減少しており、人口減少は進む一方である。この要因について実態把握しているのか。

【答】 若者定住に対する受け皿整備、移住促進、魅力発進は充分か。町の若者を引き留める施策はについて伺う。



必要が高まる居住ゾーン

居住ゾーンの必要性が高まったと認識している。今後は居住ゾーンと合わせて複合ゾーンの検討も加速させたい。今後も住み続けたい若者を増やすしたい。

ためには、小・中学校での授業を通して町の愛着心の醸成を図りたい。若者が考えた施策、アイデアを基にして施策検討を

【問】 若者定住、転入転出から見えるものは

【答】 転入減は受け皿不足が原因



わかい まさひこ
若井 政彦 議員



問 横断的視点での空き家対策を

答 総合的に進めていく



空き家対策は重要なまちづくりの課題

問 空き家の課題は、少子高齢化・人口減少と関係しており、地域住民の生活環境に深刻な不安と影響を及ぼす。現状認識と対策は。地域コミュニティや防災の視点から活用する考えはないか。空き家になることが想定される段階からの対策が必要であり、課を超えた横断的な取り組みが必要ではないか。

答 現状認識としては、毎年、自治会を通じて空き家の実態調査を実施しており、件数・状態等を把握している。空き家の管理責任は所有者等にある。その上で、所有者等と利用者の利害が一致し、マッチングできるようであれば、そうした活用は有効な手段と考える。空き家バンクの利用状況も低調であり、活用に対する有効な手段が見出せていないという課題があると認識している。

問 町民に寄り添う令和8年度

予算編成を

答 事業を計画的・着実に進める方針

問 ①重点施策・重点事項は。

答 ①新竜王小学校・学童保育所の開校。
②引続き効率的運営、効果的推進の両立を図る。

③歳入財源の見直しは。

④適切に施策に反映できるように努める。

④新規事業および事業見直しへの考え方は。

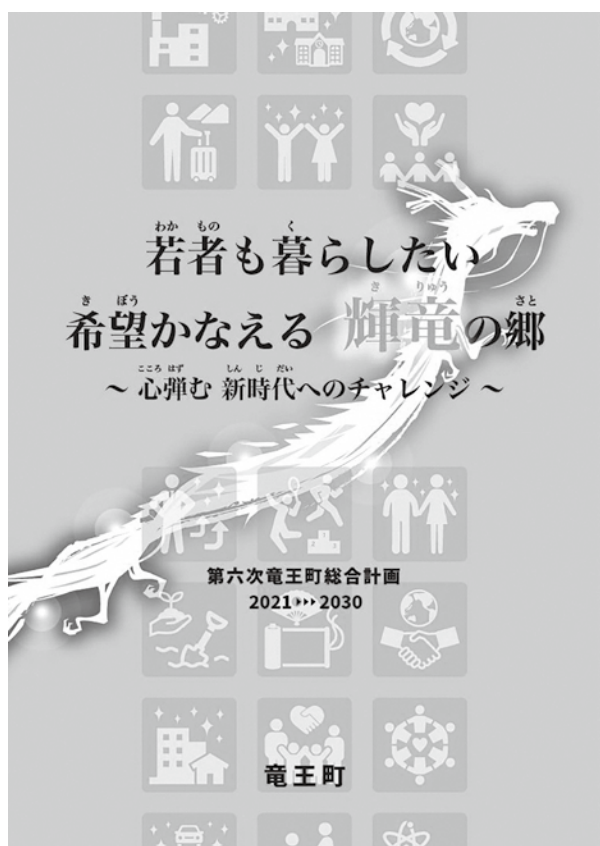
⑤地域要望への対応は。企業誘致等総合計画の実現に向けた施策推進。

⑤質の高い行政サービス・運営への体制は。

⑥歳入の不安定性と歳出構造の硬直化が課題。

⑥予算編成での課題は。

⑥歳入の不安定性と歳出構造の硬直化が課題。



第6次総合計画将来像の実現に向け

問 アンケート調査からみた 環境意識の変化は

答 取り組んできた内容をさらに広げる



もりしま よしお
森島 芳男 議員

①子どもから大人まで様々な世代に対して、環境に対して学習できる機会を拡充している。環境について考える機会として、町内事業所等を招いて環境保全



段ボール コンポスト

問 「第二次電王町環境基本計画」を策定するための基本資料とすることを目的に、町民・中学生等環境意識等のアンケート調査を実施した。次の点について伺う。
①アンケート調査から、その後の進捗は。
②学校において、環境問題に自覚を持たせる教育・指導についての現状は。

の取組を紹介するため、ブースを出展できる「エコフェスタ」の開催を次年度に計画している。
②学校においては、教科学習の中で清掃センターや浄化センターを見学し、ごみ処理や水を浄化する仕組み等を学ぶ機会が設けられている。環境を守るために自分たちにできることは何かを考え、節水やリサイクルといった学びを、日常生活で活かすよう指導している。

①ふるさと納税の寄附額の確保・増加に向けた取組を継続するとともに、企業立地の促進や地域産業の活性化・住環境整備などを通じた定住促進の取組で、将来の税収基盤の維持・強化を図る。
②公共施設の劣化状況を踏まえた計画的な修繕により長寿命化を図り、更新費用の平準化に努める。将来の人口

問 電王町の人口減少が続く場合、町政や町民にどのような影響があるのか、次の点を伺う。
①納税者が減少することに対する自主財源の確保は。
②公共施設の維持管理

問 人口減少が町政・町民に与える影響は
答 持続可能な町づくりの実現に努める

規模や利用状況・財政について検討を進め、持続見通しなどを総合的に可能な施設運営の実現踏まえ、施設の複合化に向けた取組を進めや集約化の可能性について。



計画的に長寿命化を図る公共施設



橘 せつ子 議員



問 PFAS検査の続行と汚染源調査の実施を

答 3河川の調査は継続実施、発生源調査は不要



河川での採水状況

問 町内3河川のPFAS調査は、今後も継続して実施が必要と考えるが、町の計画は。

答 令和6年度の調査では、祖父川19ng/L、善光寺川16ng/L、中津井川5ng/Lであり、国の指針値50ng/Lは超えなかったが、米国の水質基準8ng/Lの2倍以上である。発生源調査をしないで放置することは汚染を拡大させることになる。根本的な原因への

対応が必要と考え、改めて町の考えを伺う。

答 令和7年度も継続して善光寺川、祖父川、中津井川でのPFAS濃度の状況を確認するため、同一地点の水質調査を実施しており、次年度以降も実施予定である。国の指針値超過が検出されていないため、他の河川の調査は現時点では考えていない。また、発生源調査は不要と考えている。

問 フリースクール利用料への補助金増額を

答 今後の状況を注視し、判断する

問 竜王町フリースクール利用児童生徒支援補助金が予算化されたが、利用者一人月5千円から1万円で、各施設の利用料から見ても少ない状況と考える。

答 不登校や行き渋りなど悩みを抱えた児童生徒の保護者は、子どもの見守りや送迎、相談などで自身の仕事も困難な状況（遅刻・早退・休み等で収入も減額、また退職等）がある。利用料や交通費、食費などが大きな負担となっているが補助金の増額が必要では。

答 令和7年10月から、フリースクール利用者に對して、不登校児童生徒の社会的自立を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、授業料に対して補助金の交付を行っている。

補助金の増額は、本制度が始まったばかりであり、今後の状況を注視し、判断していく。

学校別室での校内教育支援センターおよび校外教育支援センター「なないろ」の充実に努め、支援していく。



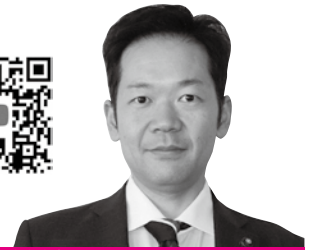
教育支援ルーム(適応指導教室)

なないろ



問 竜王は「Ryuo」か 「Ryuoh」か

答 用途に応じて使い分けていく



なかむら まさひろ
中村 匡希 議員

Ryuo or Ryuoh



外国人には違って見える

問 町のローマ字表記は「Ryuo」と「Ryuoh」が混在した状態が続いている。これは町のブランド発信等の面で分かりにくい。現時点の方針と、今後は表記を整理するのか問う。

答 町では令和4年度に町民アンケートを実施し、多くの回答で親しみやすい「Ryuoh」が支持され、町のプロモーション等で使用することにした。

一方で、公文書や道路

標識など標準性が求められる表記は、国の基準に基づき「Ryuo」を用いる方針である。今後についても用途に応じて表記を使い分けていく。

答 芝生を定着させる当初の3年間は、専門業者による管理が必要で、年間約700万円の管理費を見込んでいます。4年目以降は最適な管理方法を検討中であり、現状よりも費用負担が増えるとは考えていない。

施設は健康管理や河川管理機能も担う公共性の高い公園であり、現行の無料利用は妥当と考えるが、今後の利用状況や意見を踏まえ、活用や費用負担の在り方を検討していく。

問 祖父川公園グラウンドゴルフ場の維持管理には、継続的な財政負担が見込まれる。管理コストの妥当性や多目的利用の可能性、町外利用者も含め無料としている利用料の考え方について問う。

問 祖父川公園の管理費や多目的利用はコストを抑えつつ、あり方を検討する



多目的な利用が期待される祖父川公園

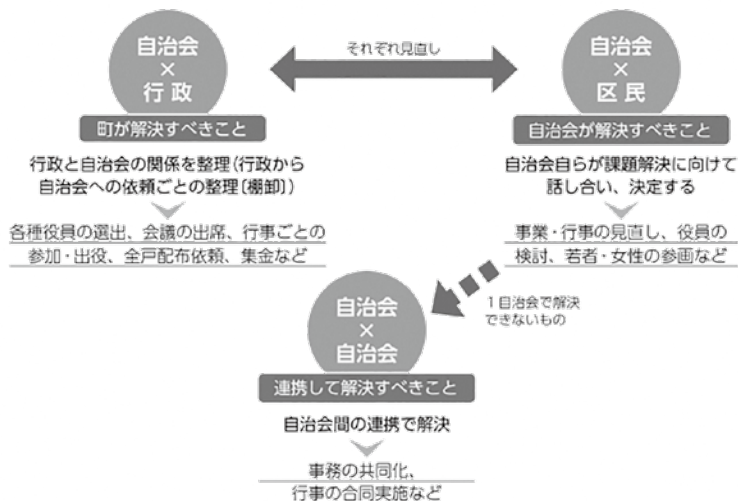


うちやま えいさく
内山 英作 議員



問 地域コミュニティの維持・活性化事業は

答 コンパクトシティ化構想の重要な柱として取り組んでいる



竜王町の自治会（地域コミュニティ）維持・活性化に向けた取組の方向性

問 人口減少と少子高齢化が一段と進み、地域では人間関係の希薄化、活動への参加意欲の低下による団体活動の維持が困難になるなど、様々な問題が発生している。そこで、今年度の主な取組経過を伺う。

答 本事業は竜王町コンパクトシティ化構想の重

要な柱の一つである。今年度は「自治会×区民」と「自治会×自治会」の取組が主体的に行われるよう、自治会連絡協議会でまちづくり研修会を行った。

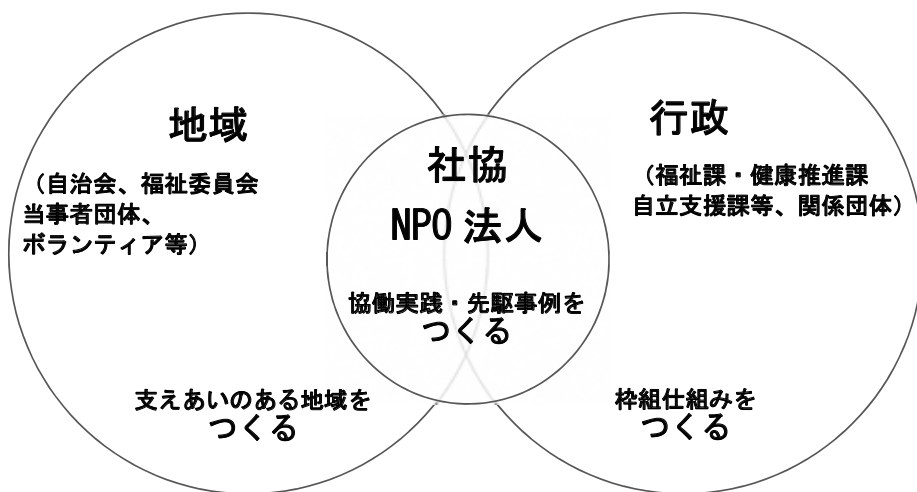
また、これらの取組を支援する団体として想定している「中間支援組織」について役場内で重点プロジェクトを設けて検討を行っている。

答 取組の主なものとして、職員体制の整備、地域福祉計画（公助）改訂版の策定実施、重層的支援体制整備事業、今年度に、住民福祉の窓口を庁舎にまとめ、相談・連携しやすい体制を整備した。また、官民の連携・協働のひとつである社会福祉協議会（共助）との役割分担のなかで、地域福祉を推進している。

問 平成29年の社会福祉法の改正で、市町村は、地域住民および支援関係機関による地域生活課題解決のための支援が包括的に提供される体制を整備するよう努めることになった。そこで、本町での今日までの取組はどうか、伺う。

問 地域まるごと包括的支援体制の整備は

答 官民の連携・協働で実施している



竜王町の官（行政）と民（社協・地域）の役割と連携のイメージ図

弓削ってこんなところ

- 弓削地区は、竜王町北東部、日野川の湾曲部に位置している
- 3か所に分散しており、会議や研修会、活動など地区内での移動が不便である。一方、近江八幡市に近く、買物や駅は至近距離にあり生活に便利な位置にある

このごろは

- 住民参加型の仕組みづくりに向けて模索中
- 自治会組織の一部見直しや、部会制の設置による役員の負担軽減化



地域ぐるみの「クリスマスパーティー」



「いきいき100歳体操、コミュニティカフェ」



「弓削の火祭り」とともに夜空に輝く花火



参加と交流の活動「区民フェスティバル」

編集後記

寒暖差のある日が続いています
が、皆さまいかがお過ごしでしょう
か。後期の新体制となり、新たな
気持ちで議会活動が始まりました。
本号では、12月20日に町制70
周年記念事業のこども議会の様子
や、12月定例会の内容を中心にお
伝えしました。

町の未来を考える議論を、少し
でも身近に感じていただければ幸
いです。本号から、新シリーズ
「あちこち まち周遊」で地域交流
を深めます。これからも町民の皆
さまに寄り添い、『おもしろい』広
報づくりに努めてまいります。

議会広報特別委員会

委員長	三宅 政仁
副委員長	鎌田 勝治
委員	若井 政彦
委員	小西 久次
委員	森島 芳男
委員	山田 義明